

近藤嘉宏

Piano Recital

2026.11/23[月.祝]

14:00 開演 (13:30 開場)

カワイ梅田「ジュエ」(大阪駅前第3ビル1F)

使用ピアノ：Shigeru Kawai SK-7

～オールショパンプログラム～

ワルツ第10番 口短調 Op.69-2

ワルツ第12番 へ短調 Op.70-2

エチュードホ長調 Op.10-3「別れの曲」

エチュードハ短調 Op.25-12「大洋」

ピアノ・ソナタ第2番 変口短調「葬送」

ノクターン第8番 変ニ長調 Op.27-2

幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66

舟歌 嬰へ長調 Op.60

アンダンテ・スピアナートと華麗なる
大ボロネーズ

近藤嘉宏の美しいピアノニズムの世界を間近
で体験、特別な空間でお楽しみください。

チケット 指定席：6,000 円 (25 席)

自由席：5,000 円 (40 席)

チケットお申し込み：yukinkopiano37@gmail.com

☎09070909717 主催：フォンテーヌの会 協力：カワイ梅田





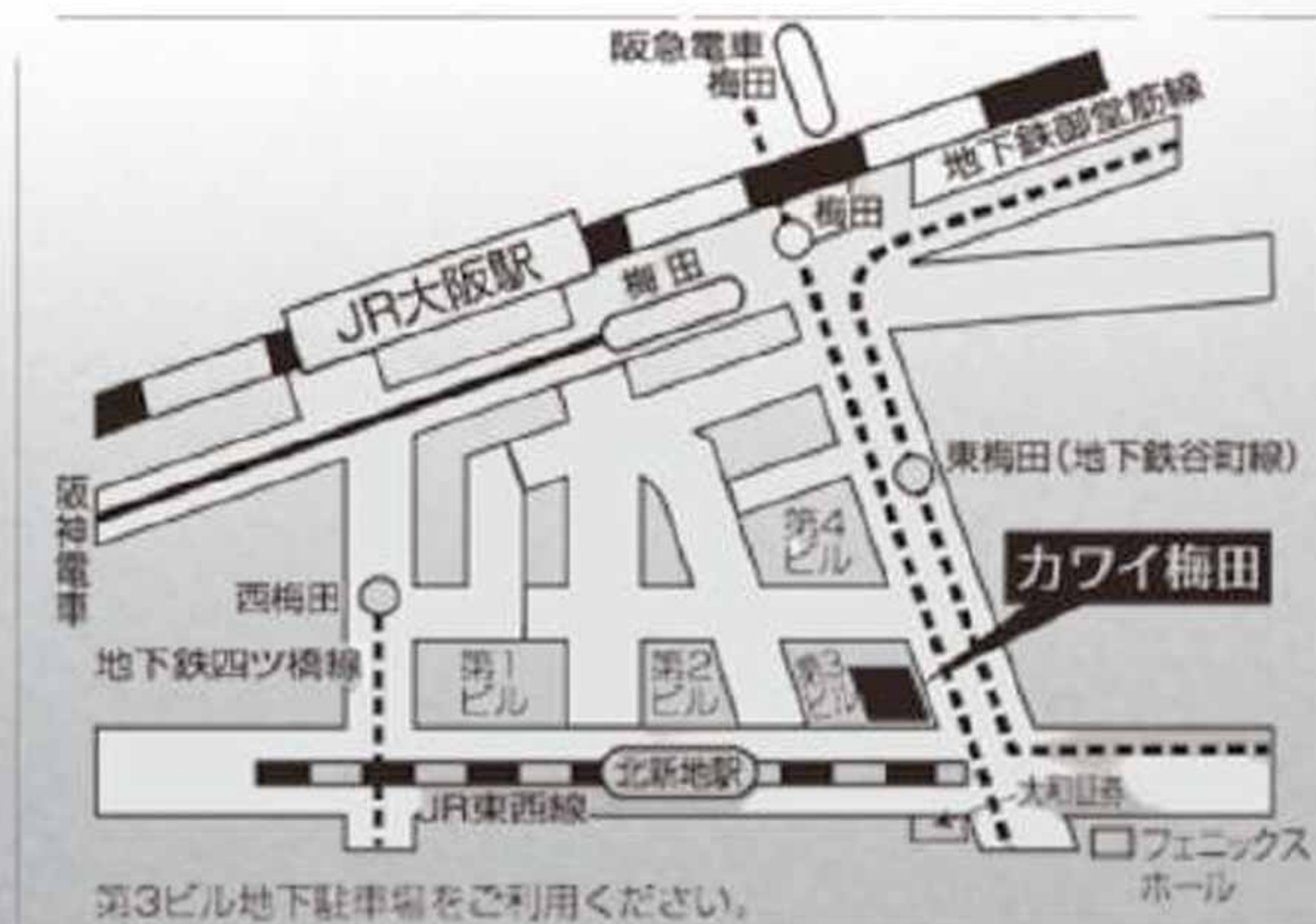
近藤嘉宏

川崎市生まれ。4歳からピアノを始める。桐朋学園大学を首席卒業。1987年日本音楽コンクール第2位。大学卒業後ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースにおいて名匠ゲルハルト・オピッツ氏のもと、さらなる研鑽を積み、1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビュー、大成功をおさめる。国内では1995年に正式にデビュー。翌1996年にはCDデビューを果たし一躍注目を浴びる存在となる。以来、日本を代表するピアニストとして第一線で活躍。Denon, Philips, Deccaなどのメジャー・レーベルをはじめとし、30タイトル以上のCDおよびDVDを国内外でリリース、その内容もソロ、協奏曲、室内楽と多岐にわたる。

1999年のショパン歿後150年を記念した大規模な全国ツアーや、1998～2008年にかけてフェスティバルホール（大阪）で行った計20回にも及ぶリサイタル・シリーズは、驚異的な動員数とともに絶賛を博す。2001年にはジョン・ミュンフンの主宰する「セブン・スターズ・ガラ・コンサート」に出演、チェロのジャン・ワンらと白熱した演奏を繰り広げる。また2005年にはデビュー10周年を記念し、サントリーホールとザ・シンフォニーホール（大阪）でリサイタル、高い評価を受けるなど、着実にキャリアを積み重ね、不動の人気と評価を獲得するに至っている。欧米やアジアなど国際的にも充実した演奏活動を展開し、広がりを見せてきている。2002年、“ジョルジュ・エネスコ”ブカレスト・フィルの日本ツアーのソリストを務め、2006年にはウィーン・ムジークフェライン・ブラームスザールにおいてリサイタル。2010年、プラハの音楽祭“International chamber music festival EuroartPrahá”に招かれ、マルティヌー弦楽四重奏団と共演。

2016年、ベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」でウィーン・ムジークフェライン大ホールにデビュー。2018年には韓国の光州市立交響楽団の定期演奏会に招かれている。2024年6月にはクラシックでは日本発の試みとなる配信限定アルバム『Brilliant Virtuoso』をリリースし話題を呼ぶ。同月、ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調Op.15(カンパニーニ弦楽五重奏版)を初演し絶賛を浴びる。これまでに数多くの国内外のオーケストラに客演し、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、クリスティアン・マンデアル、外山雄三、秋山和慶、広上淳一の各氏など多くのマエストロと共演を重ね、その音楽性に厚い信頼が寄せられている。またプロデューサーにギタリストの鈴木大介を迎え、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲を録音、その深化した音楽性に高い賛が寄せられている。2025年デビュー30周年を迎え、円熟味を増しつつも新たな挑戦を続け、繊細な感性から紡ぎ出される色彩豊かな美音としなやかな音楽性を持ち味に、着実に巨匠への道を歩んでいる。

また、春秋社版の楽譜「〈新版〉リスト作品集」（全6巻、2024年より順次刊行）において、演奏面の詳細な解説を執筆。最新アルバム「Dreamy」（2026.6/21リリース）。



カワイ梅田